

「記憶からさぐる絵本の力」

講師 山口雅子氏

《プログラム内容》

10:00～12:00

《1》学生たちへのレポートを通してみえてくるもの。

課題：『記憶に残った本をあげ、その本にあらためて再会し、今、どう思うか』

- ・5年間のレポートからわかったこと。
- ・レポートの具体例
 - ◎「ぐりとぐら」「ひとまねこざる」「しずかなおはなし」等…。本にまつわる学生たちのエピソードの紹介
- ・記憶に残る本が、なぜロングセラーの本なのか。
- ・本の持つ力の違いとは。
- ・子どもと本との出会いのタイミング
- ・本を読んでもらった記憶は、その子に何を残すのか。

《2》大人と子どもの、絵本の楽しみ方の違い

- ・鑑賞と体験の違い。
- ・子どもにとって「絵本」の絵とは何か。
 - ◎「そらいろのたね」「シナと5人きょうだい」「ロッタちゃんとじてんしゃ」他…が記憶の中でどのように生き続けたか。
- ・おはなしの描かれ方と子どもの聞き方。
 - ◎「どろんこハリー」と「花さき山」との違い

《3》質疑応答

- ・絵本の読み方について
- ・読み聞かせボランティアと学校との関係性について

◎紹介して頂いた絵本の一部

	題名	作者	出版社
1	ぐりとぐら	なかがわりえこ	福音館書店
2	だるまちゃんとかみなりちゃん	加古里子	福音館書店
3	どろんこハリー	ジーン・ジオン	福音館書店
4	まこちゃんのおたんじょうび	にしまきかやこ	こぐま社
5	ひちまねこざる	H.A.レイ	岩波書店
6	おっと、あぶない	マンロー・リーフ	フェリシモ出版
7	こぎつねコンとこだぬきボン	松野正子	童心社
8	ロッタちゃんとじてんしゃ	リンドグリーン	借成社
9	花さき山	斎藤隆介	岩崎書店
10	絵本の記憶 子どもの気持ち	山口雅子	福音館書店



★寒さ厳しいにも拘らず、会場は多くのボランティア、司書の方々に賑わった。

山口講師は5年にわたる学生たちのレポートを通して、子どもたちの記憶に残る本を調査し、その多くがロングセラーの絵本だったという事実に驚いたという。また、記憶に残る本との再会は、当時の情景や本を読んでもらった人の声、そして愛情を一瞬にして学生たちの心に蘇らせる力があるようだった。ただ、すべての本にその力があるわけではなく、読み聞かせ体験の有無やその本自体の力によって、記憶が根ざす力に個人差があるということもあるという。子どもの心の引き出しに留まり続ける本を子どもたちに手渡すためにも、私達ボランティアはつねに「子どもの目線」で、本の持っている力を信じて選書していきたいと改めて思った。「二時間ではまだまだ聞き足りない！」との声があちこちで聞かれる充実した講座だった。

